

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 Space Kids 沖縄

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	・国の基準を守っている	
	2	職員の配置数は適切である	7	2	・送迎スタッフが不足している	・配置数に関しては規定の人数を配置して運営しております。今後は職員の業務の体制を整えて、送迎が重なる時間にも適切な配置ができるように工夫していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	4		・児童の特性に寄り添って構造化された空間になるよう職員で意見を出し合っており、今後も継続して取り組んでいきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1		・管理者をはじめ、業務改善に向けてPDCAサイクルに乗っ取り職員が協議して進めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	7		・評価表は年度末に保護者、事業者向けをそれぞれに実施し公表しております。前年度は結果を受けて職員全体で改善策を協議しており、今年度も予定しております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	7	・スタッフの評価は全て公開しているわけではない気がする	・自己評価表は年度毎に結果を公表しております。職員及び保護者からいただいた内容は全て公開しており、今後も継続していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	5	・第三者の存在が分からない	・第三者委員会は現在設けておりません。今後設置できるように検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	・研修は現場が活用できる内容に変更すべき	・職員のスキルにつながるように、内容を考えて今後も定期的の実施する予定です。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	・職員全員で話し合う機会を設けている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		・契約前にアセスメントシートを作成していません。今後は適宜更新できるように工夫していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	・計画書に基づいて支援している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	・個人の場合が多い	・現在は教室ごとに活動内容を職員同士の話し合いで決めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0		
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	・発達段階に応じて個別での支援に重きを置いて取り組んでいる。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	・役割分担まで出来ていない時がある。	・支援の内容について教室ごとに打ち合わせをしています。特に外出の際は児童の担当を割り振るようにしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	・記録はとるが、検証や改善は行われていない	・日々の記録のとり方をはじめ、モニタリングや支援計画にもより記録が活かせるよう工夫していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	・各児童に担当の職員がいる。 ・管理者だけではなく、指導員(担当)も参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1	・お茶会を開く等、保護者と話す機会を設けている。	・定期的な会議の参加や適宜連絡を取り合う等の対応で関係機関との連携を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	7	・医療的ケアが必要な子はいない。	・現在は医療的ケアが必要な児童の利用はありませんが、今後利用を開始した際は適宜関係機関との連携を整えていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	7	・いない	・現在は医療的ケアが必要な児童の利用はありませんが、今後利用を開始した際は医療機関との連携も整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	・支援内容の共有は行っていない。	・今年度は就学前の児童の関係機関会議に参加し、情報共有を行っています。今後は対象の児童全員に移行支援が実施できるよう工夫していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	・支援内容の共有は行っていない。	・上に同じ
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4	・受けていない	・今後は専門機関等の資料や研修が活用できるように協議していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	8	・これからこのような機会を作っていきたい。	・公園やビーチ等での野外活動で地域の子どもたちとの関わりがあるのみなので、今後は事業所でイベント等を企画して交流できる機会を増やしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	7		・今後地域の協議会等に参加できるよう管理者で協議していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	・送迎の際に話せるようにしている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	7		・保護者の方から子育てに関する相談を受け、事業所で面談の機会を設けています。今後も必要な支援ができるよう考慮していきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2	・担当でないので分からない	・契約時に運営規定や利用者負担等の説明を保護者の方に説明しています。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	1	・担当でないので分からない	・計画書の新規作成時と更新時に支援内容の説明を児発管から行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	・機会は設けているが定期開催ではない	・今後は定期的に開催できるように検討していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8	・コロナのためできていない	・今後は保護者の方同士で交流できる機会が設けられるよう行事等を考えていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	3	・SNS等を利用して、細やかに発信している。	・月毎の行事や活動予定は前月までにお知らせするようにしています。今後は年間の行事計画も発信できるように工夫していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	1	・児童の情報をスタッフ個人のスマホでやり取りする場合がある	・今後は個人情報の扱いについて管理者で協議していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・必要に応じて個別に対応する機会を作っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6		・今後は地域に根ざした行事が開けるように職員間で話し合っていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1		・各マニュアルは策定しており、事業所に保管しております。緊急時の対応については職員向けに研修を開いて確認しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		・避難訓練は年に二回(3月、9月)を予定して行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6	3	・服薬や予防接種の確認は行っていない。	・常備薬や常用薬の確認やてんかん等の持病については契約時に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	6	・保護者からの又聞きによる対応になっている。 ・今取り組んでいる	・アレルギーについては契約時に保護者の方から対応方法を確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	5	・事例集は作成していない	・事故につながるケースについては職員全員で共有する機会を設けています。記録している事例もありますが、ヒヤリハットに関しては未作成のため今後作成に向けて進めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	5	・研修はない ・虐待だけに特化していない	・虐待防止研修については年に一度研修を開いています。今後は定期的に職員の研修機会を設けていくことを予定しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	6	・組織的に明確な基準はなく個人の判断に任されている。	・身体拘束は原則行っておりません。今後職員へ周知していく機会を都度設けていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 Space Kids 沖繩

保護者等数(児童数) 7(7) 回収数 7 割合 約100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	7					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	5			2		・基準を満たし、保育士等の資格を持った職員配置で運営しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1				・今後も児童の特性に応じて環境づくり、構造化を工夫していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7				・広々とした環境でとても清潔感があると思います	・今後も設備の維持やより良い環境、空間づくりができるよう工夫していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	6			1		・計画書の作成に当たってはガイドラインに沿って、全職員の話し合いの下で作成しております。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			1		・児童発達支援計画には本人の支援を含め、ご家庭や地域との連携を踏まえた支援内容が計画されております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			1		・児童発達支援計画書がすぐに確認できるようデータベースで管理しております。また、児童の計画書に沿って日々の活動を計画しております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	6			1		・日々の経過記録を基に達成状況に応じて、児童が意欲的に楽しく参加できることを目的に活動を考えています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1			6		・今後の状況も考慮しつつ、地域との交流の場が作れるように検討します。
適切な 支援の	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	7					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5			2		・児童発達支援計画の作成、更新の際には支援内容について相違がないように説明の上、確認しております。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	6			1		・状況に応じて相談等の家族支援体制を整えています。事業所の相談室の利用も可能です。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	6	1				・家族支援につきましては必要に応じて児童発達支援計画に内容を加えて行っています。定期的な面談につきましては今後検討していきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
の 提 供	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		2	2	3	・コロナ禍では保護者会などは当面は厳しく仕方ないと思っています	・今年度もコロナ禍の状況で開催ができておりませんでした。来年度は開催できるよう検討致します。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5			2		・活動の様子はInstagramで発信しております。活動概要や行事予定につきましては必要に応じてHUG（連携アプリ）や公式LINEにてお知らせしています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	5			2		・個人情報に記載されている書類に関しては鍵付きの棚に常時保管しております。
非 常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4			3		・非常災害時のマニュアルは契約時に保護者の方へ説明しています。他のマニュアルに関しても保護者の方へ周知していけるよう検討していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3	1		3		・今年度は半年に一回の割合（九月と三月）で計画をして実施しています。今後も年二回の避難訓練を行っていきます。事業所の公式インスタに実施風景を積極的に投稿していきます。
満 足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	7				・多種多様な活動や遊びに充実しており、楽しんでいるようで感謝しています	・今後も子どもたちが楽しさを毎回楽しさを感じられるよう、活動の内容や関わり方を工夫して参ります。
	23 事業所の支援に満足している	7					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 Space Kids 沖縄

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	5	1	3	・送迎スタッフが不足している。	・配置数に関しては規定の人数を配置して運営しております。今後は職員の業務の体制を整えて、送迎が重なる時間にも適切な配置ができるように工夫していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	2	・アプローチはスロープなのに玄関に段差がある。 ・2階に上がる手段が階段のみなので、一回のみの選択肢になる。また、玄関も段差があるため改善の必要あり。	・事業所全体のバリアフリーに向けて今後管理者で協議していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	3	0		・管理者をはじめ、業務改善に向けてPDCAサイクルに乗っ取り職員が協議して進めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2	1	・アンケートは実施していない。	・評価表は年度末に保護者、事業者向けをそれぞれに実施し公表しております。前年度は結果を受けて職員全体で改善策を協議しており、今年度も予定しております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	1		・自己評価の結果は年に一回の割合で実施し、ホームページにて公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	3	・外部評価は行ってない	・第三者委員会は現在設けておりません。今後設置できるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	0	・研修の内容を実務的なものにする必要がある	・今年度は特別支援学校の先生を講師として招いたり、緊急時の対応等の内容で月に一度の割合で研修を開いています。今後も定期的に職員の研修機会を設けていくことを予定しております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	・職員で話し合う機会を作っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	2		・契約前にアセスメントシートを作成しています。今後は適宜更新できるように工夫していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	・工夫しているが人数不足で同じことをする時もある。	・今後も活動内容について指導員を中心に工夫して進めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	1	・平日、休日、長期休暇ごとには設定していない。	・平日や学校休業日に応じて支援の内容を考慮しております。今後は職員間で共有する時間を増やしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	1	・個別活動は行ってない	・児童ごとに個別での対応が必要な場合は適宜対応しております。今後もより改善していけるよう職員間で協議していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	1	・打ち合わせは行うが役割分担は決めていない。	・支援の内容について教室ごとに打ち合わせをしています。特に外出の際は児童の担当を割り振るようになっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	・他の業務より優先して行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	1	・記録はしているが検証や改善には繋がっていない	・日々の記録のとり方をはじめ、モニタリングや支援計画にもより記録が活かせるよう工夫していきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
19		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	4	1	・ガイドラインを知らない	・今後職員向けにガイドラインが周知できる機会を作っていくようにしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0	・児童ごとに担当を決めており、事前に情報共有も行っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	3	・連携していない	・現在は医療的ケアが必要な児童の利用はありませんが、今後利用を開始した際は適宜関係機関との連携を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	2	0	・もっと力を入れていきたい	・今年度は就学前の児童の関係機関会議に参加し、情報共有を行っています。今後は対象の児童全員に移行支援が実施できるよう工夫していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	4	・保護者には解約後の情報提供等の協力について説明をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	3	・外部ぐるみの研修の機会を増やしていきたい	・今後は専門機関等の資料や研修が活用できるように協議していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	6		・公園やビーチ等での野外活動で地域の子どもたちとの関わりがあるのみなので、今後は事業所でイベント等を企画して交流できる機会を増やしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	5	・していない	・今後地域の協議会等に参加できるよう管理者で協議していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	0		・保護者の方から子育てに関する相談を受け、事業所で面談の機会を設けています。今後も必要な支援ができるよう考慮していきます。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	3	0	・説明している場にはないため分からない	・契約時に運営規定や利用者負担等の説明を保護者の方に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	0	・お茶会を開くなど必要な支援が行えている	・保護者の方から子育てに関する相談を受け、事業所で面談の機会を設けています。今後も必要な支援ができるよう考慮していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	5	・行っていない ・これからしっかり開催していきたい	・今後は保護者の方同士で交流できる機会が設けられるよう行事等を考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1	0		・苦情についてはフローチャートを作成し、その後の対応含め職員間で共有するようしております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	2	・発行していない	・月毎の行事や活動予定は前月までにお知らせするようになっています。今後は年間の行事計画も発信できるように工夫していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7	1	1	・個人のスマホで連絡をとるため、不十分。 ・情報共有する時に、職員の個人スマホを使用しているので、社用携帯に変えた方がよい	・今後は個人情報の扱いについて管理者で協議していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	3	・講演会に地域の人を招待している ・外部講師の研修	・今後は地域に根ざした行事が開けるように職員間で話し合っていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	6	3	0		・各マニュアルは策定しており、事業所に保管し ております。緊急時の対応については職員向け に研修を開いて確認しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6	2	0		・避難訓練は年に二回(3月、9月)を予定して 行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	7	1	1	・先生呼びの廃止 ・研修の機会はない	・虐待防止研修については年に一度研修を開 いています。今後は定期的に職員の研修機会 を設けていくことを予定しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	2	3	4	・組織的に決定しておらず周知していない	・身体拘束は原則行っておりません。今後職員 へ周知していく機会を都度設けていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	3	3	3	・保護者からの聞き取りのみで行っている	・アレルギーについては契約時に保護者の方 から対応方法を確認しています。医師の指示書 がある場合はその共有と対応を行っていくよ うにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	3	5	1	・作成していない	・事故につながるケースについては職員全員で 共有する機会を設けています。記録している事 例もありますが、ヒヤリハットに関しては未作成 のため今後作成に向けて進めていきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 5月 15日

事業所名 Space Kids 沖繩

保護者等数(児童数)25(28) 回収数20 割合 約80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1			・規定に定められた基準を満たした空間ですが、活動によってスペースが配慮できるよう工夫していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	3		・職員の専門性について適切であるかわからない。	・基準を満たし、資格を持った職員を配置しておりますが、今後はより専門性を活かした療育が提供できるよう工夫していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	3		・新しいきれいな事業所での有難い。	・今後も設備の維持や、よりよい環境づくりができるよう工夫していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20			・的確なアドバイス。ポジティブフィードバックありがとうございます。	・今後も必要に応じて振り返りを行い、計画内容を更新していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	2			・個別支援計画書に基づいて、日々の利用児童に合った活動プログラムを考えております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	11	3	・今後交流会など活動に取り入れてほしい。 ・新型コロナの影響でやっているかわからない。 ・分かりません。	・公園での活動で地域の子どもたちと交流する機会がありますが、今後こちらが企画して事業所以外の児童と関わる機会を設けられるよう検討していきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1			・利用者負担については契約時に、支援の内容につきましては計画書の更新時等にお伝えしております。その後もご不明な点や気になる点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	1		・利用した日にLINEで今日やった内容など細かく写真付で共有できるのでとても良いと思います。	・今後も送迎時やLINE等で情報交換ができるよう工夫していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	4		・学校のことも相談させてもらっている	・LINEやHUG(連携アプリ)での連絡や午前中の時間を中心に事業所で面談することは可能です。今後もお気軽にお問い合わせください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	9	7	・コロナ禍で送迎利用のため会ったことがない。 ・父母会などは特にやらなくても良いかなと思います。 ・新型コロナの影響でやっているか分からない。 ・コロナ禍なので仕方ないと思う。 ・分かりません。	・コロナ禍の状況で開催ができておりません。状況を考慮し開催方法を検討致します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	1			・保護者からの申し入れやご相談に対して迅速に対応できるよう、フローチャート等を作成して取り組んでおります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20				
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20					

	14	個人情報に十分注意しているか	17	3			・個人情報に関わる書類は鍵付きの棚に保管しております。また、SNSに上げる写真や文章につきましても、注意を払って確認しております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	3	1		・非常災害時のマニュアルは契約時に保護者の方へ説明しています。他のマニュアルに関しても保護者の方へ周知していけるよう検討していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	7		・子供からは訓練したという話は聞いていない(やっているかもしれません)	・今年度は半年に一回の割合(九月と三月)で計画をして実施しています。今後も年二回の避難訓練を行っていきます。事業所の公式インスタに実施風景を積極的に投稿していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2			・今後も児童の好きなことや興味のあることに寄り添って、事業所での過ごし方を考えていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	19	1		・いつも子供のことをわかってくれてありがとうございます	・これからも子どもたちのことを理解できるように支援の内容も考えていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。